

2. 満足度・重要度の経年変化

各施策の意識に関する経年変化は図表14のとおりです。「満足度(%) (重要度(%))」とは、市民意識調査の施策項目ごとの「満足(重要)」、「やや満足(やや重要)」の合計数を回答総数で除した割合です。

各施策の回答について、「満足(重要) = +2」、「やや満足(やや重要) = +1」、「やや不満(あまり重要でない) = -1」、「不満(重要でない) = -2」としてポイントを与え、これに回答数を掛け合わせた合計ポイントを「回答総数 - 無回答数 = 有効回答数」で除した平均値を算出し、これが全施策の平均値と比較して±0.1の範囲内にあるものを「中」、それより高い(低い)ものを「高」(「低」)としています。

施策項目	満足度					重要度				
	22 / 24	平成24年度		平成22年度		22 / 24	平成24年度		平成22年度	
		満足度 (%)	3段階 評価	満足度 (%)	3段階 評価		重要度 (%)	3段階 評価	重要度 (%)	3段階 評価
全体	↗	22.3%		21.5%		↘	70.7%		72.0%	
創1-1人権と平和の尊重	↗	20.2%	高	18.1%	高	↘	64.6%	低	66.7%	低
創1-2国際化の推進	↗	13.2%	高	12.3%	高	↘	47.7%	低	49.8%	低
創1-3男女平等参画社会の推進	↘	16.7%	高	17.0%	高	↘	54.0%	低	56.2%	低
創2-1子ども参加の推進	↗	22.4%	中	20.4%	中	↘	71.1%	中	74.0%	高
創2-2子育て支援の促進	↗	18.6%	中	14.9%	低	↘	75.3%	高	76.8%	高
創2-3学校教育の充実	↗	20.1%	中	15.3%	中	↘	68.1%	中	69.2%	中
創3-1生涯学習社会の形成	↘	24.6%	高	25.8%	高	↘	65.9%	低	69.2%	低
創3-2学習活動の推進	↗	46.4%	高	45.7%	高	↘	76.4%	中	78.1%	中
創3-3スポーツ・レクリエーション活動の振興	↗	29.9%	高	29.4%	高	↘	64.8%	低	65.0%	低
創3-4芸術・文化活動の振興	↘	32.3%	高	33.0%	高	↘	60.4%	低	62.7%	低
笑1-1地域福祉の推進	↗	17.5%	中	16.6%	中	↘	71.5%	中	74.2%	中
笑1-2高齢者福祉の充実	↗	21.8%	中	18.5%	中	↘	81.3%	高	84.1%	高
笑1-3障害者福祉の充実	↗	15.8%	中	14.1%	中	↘	74.4%	中	77.6%	高
笑1-4社会保障制度の運営	↗	16.0%	中	14.7%	中	↘	72.7%	中	76.0%	高
笑1-5暮らしの相談の充実	↘	18.4%	中	18.9%	中	↘	69.5%	中	72.1%	中
笑2-1健康づくりの推進	↗	25.1%	中	23.6%	中	↘	77.0%	高	79.2%	高
笑2-2高齢者の生きがいづくりの充実	↗	13.9%	中	13.8%	中	↘	67.1%	低	69.6%	低
笑2-3障害者の社会参加の拡大	↘	8.8%	中	9.7%	中	↘	70.4%	中	71.5%	中
環1-1みどりの保全・活用	↗	35.6%	高	35.0%	高	↘	74.0%	中	75.3%	中
環1-2みどりの空間の創出	↗	40.3%	高	38.3%	高	↘	81.9%	高	82.4%	高
環2-1環境意識の高揚	↗	17.4%	中	15.9%	中	↘	63.7%	低	86.2%	高
環2-2ごみ対策の推進	↗	52.8%	高	45.5%	高	↗	85.6%	高	82.9%	高
環2-3公害対策の推進	↗	24.8%	中	22.2%	中	↗	80.9%	高	64.9%	低
環2-4地球温暖化対策の推進	↗	14.8%	低	14.6%	中	↗	75.1%	高	73.7%	中

施策項目	満足度					重要度				
	22 / 24	平成24年度		平成22年度		22 / 24	平成24年度		平成22年度	
		満足度 (%)	3段階評価	満足度 (%)	3段階評価		重要度 (%)	3段階評価	重要度 (%)	3段階評価
安1-1住みやすい住環境の創造	↗	24.4%	低	23.6%	低	↗	73.1%	中	73.9%	中
安1-2道路・交通の整備	↗	26.7%	低	25.9%	低	↗	82.5%	高	82.3%	高
安1-3上下水道の運営	↗	33.7%	高	31.5%	高	↗	74.1%	中	72.5%	中
安2-1災害に強いまちづくり	↘	15.4%	低	17.0%	低	↗	83.2%	高	82.2%	高
安2-2防犯・交通安全の推進	↘	21.9%	低	24.0%	低	↗	84.8%	高	84.7%	高
安2-3危機管理体制の整備	↘	10.8%	低	12.1%	低	↗	85.0%	高	84.5%	高
活1-1産業の振興	↘	13.4%	低	13.8%	中	↘	66.3%	低	67.9%	低
活1-2新産業の育成	↘	6.5%	低	7.5%	中	↘	55.4%	低	56.0%	低
活2-1まちの魅力の創造	↘	13.5%	低	14.1%	低	↘	65.9%	低	67.3%	低
協1-1市民主体のまちづくりの推進	↘	15.2%	中	15.9%	中	↘	55.9%	低	58.9%	低
協1-2協働のまちづくりの推進	↘	11.3%	中	11.9%	中	↘	53.1%	低	56.6%	低
協2-1開かれた市政の推進	↗	41.0%	高	40.4%	高	↘	74.4%	高	76.0%	中
協2-2地域情報化の推進	↗	26.8%	高	25.6%	高	↘	60.9%	低	61.3%	低
協2-3健全な自治体経営の推進	↗	30.6%	中	29.1%	中	↘	75.7%	高	77.5%	高

満足度			
24年度		22年度	
高	13	高	13
中	16	中	18
低	9	低	7
計	38	計	38

重要度			
24年度		22年度	
高	13	高	14
中	11	中	10
低	14	低	14
計	38	計	38

図表 14 平成 22 年度、平成 24 年度市民意識調査結果の経年変化

3. 分析結果

(1) 全般的な傾向

満足度については、全 38 施策中 25 施策について前回調査時よりも向上しており、13 施策について前回調査時よりも低下しているという結果でした。満足度ポイントの平均値の比較では、平成 22 年度は -0.14 ポイントであったのに対し、平成 24 年度は -0.10 ポイントであり、全体として、満足度は向上していると言えます。

重要度については、全 38 施策中 9 施策について前回調査時よりも向上しており、29 施策について前回調査時よりも低下しているという結果でした。重要度ポイントの平均値の比較では、平成 22 年度は 1.06 ポイントであったのに対し、平成 24 年度は 1.05 ポイントであり、全体として、重要度はわずかに減少していると言えます。

(2) 総合計画における6つの施策分野ごとの満足度・重要度の分布状況

平成24年度に実施した市民意識調査結果を、総合計画における6つの施策分野ごとに分類すると図表15のとおりとなります。

施策分野	満足度			重要度		
	高	中	低	高	中	低
創造性の育つまちづくり（10施策）	7	3	0	1	3	6
笑顔で暮らすまちづくり（8施策）	0	8	0	2	5	1
環境にやさしいまちづくり（6施策）	3	2	1	4	1	1
安全で快適に暮らすまちづくり（6施策）	1	0	5	4	2	0
活力と魅力あるまちづくり（3施策）	0	0	3	0	0	3
協働で拓くまちづくり（5施策）	2	3	0	2	0	3
計	13	16	9	13	11	14

図表15 平成24年度市民意識調査結果の施策分野別分布状況

◆ 創造性の育つまちづくり

満足度は「高」～「中」に分布しており、重要度は主に「中」～「低」に分布していることから、市民意識においては、本施策分野に対して比較的高い評価を得ているものと考えられます。

満足度については10施策中7施策で前回調査時より向上し、重要度は10施策すべてにおいて前回調査時より低下しています。中でも、今回調査において唯一重要度が「高」であった「子育て支援の促進」については、重要度は依然として「高」であるものの前回調査時より低下しており、満足度は前回調査時には「低」であったものが「中」となっています。また、前回調査時には重要度が「高」であった「子ども参加の促進」については、重要度が「中」となるなど、いずれも前回施策評価において拡充重点化を図るとした施策実施方針に従い取組を進めた結果が、意識調査に表れているものと考えられます。

◆ 笑顔で暮らすまちづくり

満足度はすべて「中」に分布しており、重要度も主に「中」に分布していることから、市民意識においては、本施策分野に対して一定の評価を得ているものと考えられます。

満足度については8施策中6施策で前回調査時より向上し、重要度は8施策すべてにおいて前回調査時より低下しています。中でも、前回施策評価において拡充重点化を図るとした「地域福祉の推進」、「高齢者福祉の充実」、「障害者福祉の充実」の3施策については、いずれも満足度は向上、重要度は低下をしており、とりわけ「障害者福祉の充実」については、前回調査時には「高」であった重要度が「中」となるなど、これまでの取組の結果が、意識調査に表れているものと考えられます。

◆ 環境にやさしいまちづくり

満足度は主に「高」～「中」に分布しており、重要度は主に「高」に分布していることから、市民意識においては、本施策分野に対するこれまでの取組の成果には一定の評価を得ているものの、今後とも重要であるとの認識の表れと考えられます。

満足度については6施策すべてで前回調査時より向上し、重要度は向上と低下が3施策ずつとなっています。中でも、「公害対策の推進」、「地球温暖化対策の推進」の2施策については、前回調査時には重要度がそれぞれ「低」、「中」であったものがいずれも「高」となっており、このことは、自然エネルギー活用の普及が進みつつある状況に加え、平成23年3月11日に発生した東日本大震災と、それに伴う原子力発電所事故の影響が推測され、前回調査時からの大きな社会情勢の変化が表れたものと考えられます。

◆ 安全で快適に暮らすまちづくり

満足度は1施策を除いて「低」に分布しており、重要度は「高」～「中」に分布していることから、市民意識においては、本施策分野に対するこれまでの取組の成果には満足を得られておらず、要請の強い分野であると考えられます。

満足度については6施策中3施策で前回調査時より低下し、重要度は6施策すべてで前回調査時より向上しています。中でも、「道路・交通の整備」、「災害に強いまちづくり」、「防犯・交通安全の推進」、「危機管理体制の整備」の4施策については、前回調査時に満足度が「低」、重要度が「高」であったものが引き続き状況となっており、「道路・交通の整備」で満足度の向上が見られたほかは、いずれの施策も満足度が低下、重要度が向上しています。このことは、平成23年3月11日に発生した東日本大震災と、それに伴う原子力発電所事故の影響が推測され、前回調査時からの大きな社会情勢の変化が表れたものと考えられます。

◆ 活力と魅力あるまちづくり

3施策すべてが満足度・重要度ともに「低」に分布しており、市民意識においては、本施策分野に対するこれまでの取組の成果に対する満足が得られておらず、その重要性も実感として伝わっていない分野であると考えられます。

前回調査時と比較しても、3施策すべてで満足度・重要度が前回調査時より低下しており、中でも、「産業の振興」、「新産業の育成」の2施策については、前回調査時に満足度が「中」であったものが「低」となっています。

◆ 協働で拓くまちづくり

満足度は「高」～「中」に分布しており、重要度は「高」と「低」に分布していることから、市民意識においては、本施策分野に対するこれまでの取組の成果には一定の評価を得ており、施策によっては今後とも重要であるとの認識の表れと考えられます。

満足度については5施策中3施策で前回調査時より向上し、重要度は5施策すべてで前回調査時より低下しています。中でも、「市民主体のまちづくりの推進」、「協働のまちづくりの推進」の2施策については、満足度・重要度とも低下しており、これまでの取組の成果に対する満足が得られておらず、その重要性も実感として伝わっていない分野であると考えられます。